



脱VMware

Nutanixに移行する理由



マルチクラウド
管理インターフェイス
「Prism」

単一ビューで、
直感的な運用管理を実現

1 シンプルだから労力1/10、
完全新世代の
統合アーキテクチャ

2 軍用としても鍛えられた
強固なセキュリティ

3 徹底的に省力化された
運用管理&業界最高
レベルのサポート

4 Kubernetes・AIなど
最新トレンドも
統合済みの先進性

脱VMwareの風潮は、かなり一般的になってきている感がございますが、今後どこに切り替えていくかでお悩みの販売店様も多いと思います。

そこで、移行先の大本命と言われているNutanixをよりご理解いただくためのセミナーを定期開催しております。

以前ご参加いただいた方にも、さらにお役立ていただけるよう、追加情報含めてお話をさせていただきます。

当日都合つかない…という方にも、申し込まれた方には、後日、録画共有いたしますので、ぜひお申込みくださいませ!!

高収入IT資格ランキングで、ランク急上昇!
資格取得でも脱VMwareに拍車がかかっています

Nutanix初級資格を取ってみよう! (2025年日本語対応版)

脱VMware

サーバ仮想化

資格取得

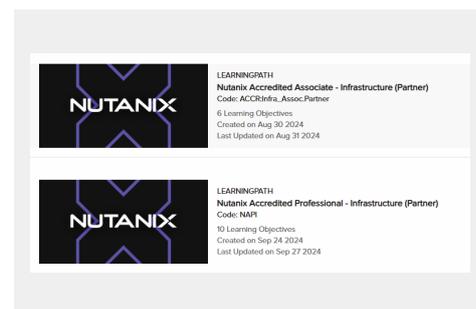
Nutanixを取り扱うために必要な基礎知識を凝縮した、セールス向け/SE向けの無償資格(NCSR-Basic、NAAI、NAPI)をこの機会に受講しましょう! 解説するコースは以下の無償コースです。どちらも最新FY25パートナープログラムでの上位ランク要件の一部です。

- ▶ 営業向け(入門)無償Webコース
「Nutanix Certified Sales Representative (NCSR- Basics)」(英語のみ)
- ▶ 営業向け(初級)無償Webコース
「Nutanix Accredited Associate - Infrastructure (NAAI)」(英語・日本語)
- ▶ プリセールスSE向け(初級)無償Webコース
「Nutanix Accredited Professional - Infrastructure (NAPI)」(英語・日本語)

今回のセミナーでは、それぞれの資格がどんなことに役立つのか「My Nutanix」へのサインアップ、メーカー学習サイト「University」での受講手順、お気をつけいただきたいポイント(テスト形式、重要なトピック)について、DISの仮想インフラ推進担当よりわかりやすく解説いたします。

このような方に聞いていただきたい!

- ✔ Nutanix提案にあたって、体系立てて学習しておきたいとお考えの方
- ✔ Nutanix資格を取得したいが、受講手順に不安を感じている方
- ✔ より上位のパートナーランクを目指される販売店様





サーバ仮想化移行先として、Nutanixへの問い合わせが急増中です!

【脱VMware】移行先の大本命はNutanix! その技術的な仕組みの基礎を解説 (最新AOS7.0版)

脱VMWare

サーバ仮想化

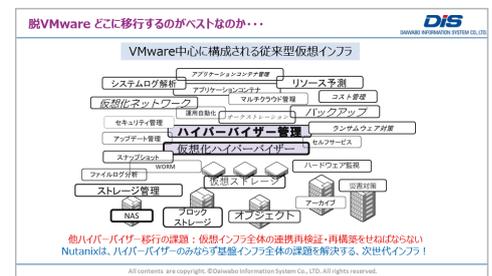
技術基礎

脱VMwareの流れの中で、仮想インフラの移行先をお探しになられたものの、ハイパーバイザーの入替となると、**仮想インフラ全体の連携再検証・再構築までせねばならず二の足を踏んでいる**、というお声を多数お聞きしております。どのメーカーを推して切替提案していくべきかお悩みの販売店様も多いのではないのでしょうか? そんな中、移行先の大本命と言われているNutanixは、ハイパーバイザーだけではなく、仮想インフラ「全体」の課題を、次世代インフラソリューションで解決しています。Nutanixの強みは、「①無停止アップデートなど自動化にこだわった技術設計」「②軍用としても鍛えられた強固なセキュリティ」「③業界最高レベルのサポート評価」「④マルチクラウド、AI、Kubernetesも視野に含めた将来性」などです。

本セミナーでは、他のハイパーバイザーとは一線を画すソリューションを提供する「Nutanix」の、技術的仕組みの基礎を、DISの仮想インフラ推進担当より、詳しく解説いたします。

このような方に聞いていただきたい!

- ✔ 脱VMware提案にお悩みの販売店様
- ✔ Nutanixの強みをご理解されたい販売店様 (販売店営業様・SE様共にお聞きいただきたい内容になります)



Nutanixなら、サイジングも自動化できます!

サーバ仮想化案件のサイジングの難しさを解消する Nutanix無償ツール「Sizer」

脱VMWare

サーバ仮想化

サイジング

“仮想化環境のサイジングは複雑すぎて、専門家に頼らないと無理”と一般的に思われてきましたが、Nutanixパートナーに無償提供されているサイジングツール「Sizer (サイザー)」を利用すれば、他メーカーでは数週間かかっていた構成作成や見積対応を1日で完了させることも可能になります。

さらに、現行仮想基盤の使用状況をデータ収集できる「Collector (コレクター)」の活用で、ユーザー様自身把握しきれていないこともある、現行仮想マシンの利用状況のデータを取得して、根拠ある提案が可能です。

今回のセミナーでは、Sizer利用の勘所や、具体的手順について、DISの仮想インフラ推進担当より解説いたします。

このような方に聞いていただきたい!

- ✔ サーバ仮想化およびNutanixの提案力向上を目指される販売店様

